

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			子ども達には圧迫感なく活動ができるよう、基準よりも広いスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			国が定める基準よりも多く職員を配置できている。今後は専門性を全体で高めていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			事業所は1階に位置しており、大きな段差もないため、負担なく通所していただくことが可能となっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			スタッフ同士で話し合う機会を多く設けており、振り返りを必ず行うように取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			コロナやインフルエンザ等の感染症の影響もあり難しい部分はあったが、業務改善に繋げられるように意識している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPを作成し、公開する予定となっている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、取り組めていないが、外部評価を行って行きたいという話がでており、今後導入できるように検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所から研修の紹介をし、自身が行きたい研修には積極的に参加ができるように意識している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			見学や面談などの際に、保護者面談を行い、ニーズの把握等を行い、計画書の作成を行っている。また、個別支援計画作成会議を行い、スタッフで検討する時間を設けている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化したアセスメントツールを使用できているが、もう少し分かりやすいアセスメントツールを使用し、より良い支援に繋がるように検討していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スタッフや子どもも交えて、子どもが主体となって参加できるプログラムの立案ができるように努めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			様々な体験ができるように、日々話し合いを重ねてプログラムが固定化しないように努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇ならではの課題があるため、柔軟に様々な経験が積めるように意識して取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの特性に応じて、個別活動と集団活動が相互関係であるように計画を作成し、共有を図っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			一日の流れや役割分担等、話し合う時間を設けている。特変があった際等はすぐに連絡をし共有を図っている。また、急な役割変更があった際にも柔軟に対応ができるように、全体の把握も行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎などで時間が合わないことが多いため、次の日にミーティングを行ったり、特変があった際にはその日に連絡を取り共有を図っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録は全職員で共有できるようにしており、ミーティングなどで話し合う時間も設けている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最低でも半年に1回のモニタリングを実施し、スタッフ間でも協議し、個別支援計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			定期的に読み合わせを行い、意識して支援を提供できるように努めている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理者もしくは児童発達支援管理責任者が参加するようにしており、他スタッフにも事業所内で共有を図るように意識している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		情報共有部分では学校によって差異がある。下校時間は学校から配布されるプリントで確認し、急な変更があった際は直接連絡をもらえるように調整している。送迎の際には積極的にコミュニケーションを図るように意識している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在医療的ケアを必要とする児童の利用がないが、今後利用していただける話があった際には医療との連携が確実に図れるような体制をつくっていききたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	密な連携を取ることはできていない。就学前に利用していた事業所との連携は、非常に重要だと感じており、今後は積極的に連携を図りながら支援を提供していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在、障がい福祉サービスに移行した利用者がいないが、今年卒業となる児童がいるため連携を図りスムーズに移行ができるように調整したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	研修等へは積極的に参加できているが、専門機関との連携は今後の課題である。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	公園で地域の子どもや児童クラブの児童との関りがもてており、一緒に活動する時間も作っている。今後は一緒に地域の行事等にも参加したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		部会には世話人として関り、研修にも積極的に参加し、連携を図っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日頃から特変があった際等、すぐに連携をとるようにし、情報共有を図っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	保護者への助言などを適切に行えるように知識や技術の習得に努めている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の際や問い合わせがあった際に説明を行っている。契約後もいつでも答えることができるように意識している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	保護者への助言などを適切に行えるように知識や技術の習得に努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在行うことができていない。保護者の要望等も確認しながら今後も検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		マニュアルに基づき対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		行事予定表を毎月作成し、配布している。SNSを通して発信もしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に記載された書類は鍵付きロッカーで保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		分かりやすい伝達方法を意識しながら伝えるようにしている。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナの影響もあり、現在行うことができていない。 緩和されてきたため、今後は検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約の際や問い合わせがあった際に説明を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2～3回の避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部・内部研修にて知識の習得に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在対象となる児童がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		面談の際等にアレルギーの確認を行い、十分に配慮している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			危険な事例があった際にはスタッフ間で共有し、話し合いを行っている。